

かつしかの

—第153号—

きょういく

発行/葛飾区教育委員会
編集/教育総務課
〒124-8555
葛飾区立石五丁目13番1号
☎03-3695-1111(代表)

ホームページは
こちらから →



かつしか教育プラン(2024~2028)

~葛飾区教育振興基本計画~



を策定しました



葛飾区教育委員会では、本区の教育を取り巻く社会状況の変化や新たな課題に対応するため、令和6(2024)年度から令和10(2028)年度までを計画期間とする「かつしか教育プラン(2024~2028)」(正式名称:葛飾区教育振興基本計画)を策定しました。

計画の策定に当たっては、学識経験者や関係団体の代表から構成される「葛飾区教育振興基本計画策定検討委員会」で8回にわたり検討を重ね、区議会や総合教育会議でご意見をいただきながら、令和6年1月の教育委員会で決定いたしました。

計画の名称は、区民の皆様にも親しみ、なじんでいただけるよう、これまでの計画の愛称「かつしか教育プラン」を継承しています。



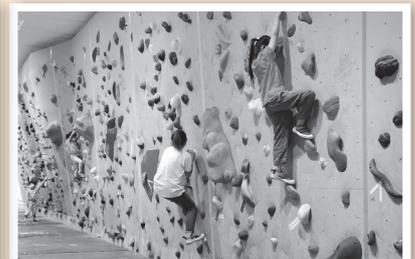
計画の対象 子どもから大人まで全ての区民

- 「葛飾区教育大綱」及び「葛飾区教育委員会の教育目標」を基本に、「SDGsの目標(ゴール)の達成を目指す教育」及び「子どもたち一人一人を大切にされた教育」を踏まえた、本計画を貫く理念を計画の目指す姿として、次のとおりまとめました。

かがやく未来をつくる力をはぐくむ
~ 共に学びあい 支えあうまち かつしか ~

葛飾区教育委員会は、本計画で定めた3つの「基本方針」に基づき、施策を総合的に推進し、各種団体と協働しながら、葛飾区の教育の一層の振興、発展を実現します。

教育総務課 ☎03-5654-8449



基本方針や主な事業は2ページをご覧ください。

かつしか教育プラン(2024~2028)の 基本方針と主な事業等



基本方針1

子ども一人一人が生き生きと学び生きる力を培う
学校教育を推進します

主な事業等

総合的な学力向上事業、体力向上のための取組、ICTを活用した授業の推進、義務教育9年間を通じた英語教育、幼児教育、幼保小連携教育、いじめ防止等への取組の推進、特別支援教育に係る環境の整備、不登校児童・生徒への支援、にほんごステップアップ教室の運営、教員の働き方改革の推進、学校施設の改築 など



基本方針2

家庭・地域・学校が連携して子どもの豊かな成長を促します

主な事業等

家庭教育講座、スクールカウンセラーによる相談体制、放課後子ども事業(わくわくチャレンジ広場)、学校運営協議会の設置、キャリア・パスポートの活用、中学校部活動顧問指導員等の配置及び部活動の地域移行 など



基本方針3

生涯にわたる豊かな学びを支援します

主な事業等

文化・芸術活動の機会の提供、高齢者の健康づくりの推進、障害者スポーツの推進、オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーの継承、博物館における協働事業の充実、文化財の保存及び活用、スポーツボランティア育成支援、電子書籍の拡充、快適な空間で読書や学習ができる図書館への改修 など



※計画の詳しい内容は、2月下旬に区HPに掲載する予定です。

教育総務課 ☎03-5654-8449

令和5年度 感謝状を贈呈しました

区立小・中学校の運営に積極的な支援を行い、その功労が顕著である団体及び個人と放課後子ども事業功労者に対し、11月22日、青木克徳葛飾区長より感謝状を贈呈しました。贈呈された方は次のとおりです(敬称略)。

地域教育課 ☎03-5654-8589



学校支援団体

【学校教育支援活動】

本田小学校図書ボランティア
堀切小学校図書ボランティア
上平井小学校読み聞かせボランティア
こすげ小学校図書ボランティア
白鳥小学校学校地域応援団
mama's deco (東柴又小学校)

【学校環境整備活動】

半田小学校学校地域応援団
清和小学校花菖蒲・君子蘭花壇整備ボランティア
東綾瀬小学校 親児の会

【学校安全支援活動】

東四つ木南町会 (渋江小学校)
道上小学校 おやじの会
水元小学校学校地域応援団

学校支援個人

【学校環境整備活動】

秦野 光 (末広小学校)
森 俊子 (柴又小学校)
丸岡 和彦 (上千葉小学校)

【学校安全支援活動】

松井 昭夫 (細田小学校)
加賀野 恵理子 (青戸小学校)

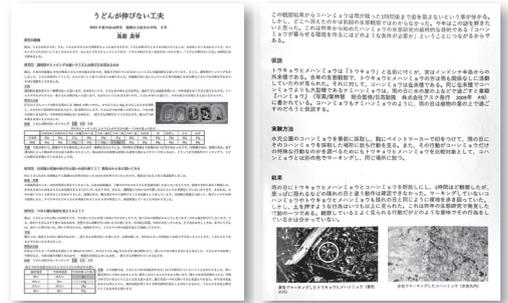
放課後子ども事業功労者

池上 貴美子 (二上小学校)
丸山 均 (高砂小学校)
青木 善男 (住吉小学校)
小川 七朗 (亀青小学校)
磯川 紘一 (木根川小学校)
阿部 真砂子 (東水元小学校)

第10回 葛飾みらい科学 研究コンクールが開催されました

児童・生徒が自ら決めたテーマについて、科学的に考え、観察・実験し、工夫してまとめられた自由研究作品が集まりました。

小学校36校・92点、中学校10校・25点の応募があり、次の方が受賞しました(敬称略)。なお、鳥居真幸さんの作品は令和5年度東京都小学生科学展に出品し、東京都教育委員会賞を受賞しました。指導室 ☎03-5654-8471



▲鳥居真幸さんの作品 ▲鳥居幸永さんの作品

小学校

- ▶教育長賞
鳥居 真幸(住吉小5年)
「うどんが伸びない工夫」
- ▶東京理科大学学長賞
内山 凜哉(北野小4年)
「発芽するには何が必要？」
- ▶入賞
横沢 ゆりあ(高砂小3年)
「3Dの絵をかこう！」
鳥居 みさき(住吉小1年)
「ぶらんこをはやくたかくこくだいさくせん!!」
善養寺 莉子(道上小3年)
「亀有セミ調査」
- 柿沼 育実(宝木塚小4年)
「カイコの飼育 観察 実験」
- 中澤 穂乃香(青戸小6年)
「植物と規則」
- 黒澤 謙介(北野小6年)
「僕の好きな夢の虫たち」
- 齊藤 みゆき(原田小6年)
「洗濯物を乾かすコツ」
- 小幡 優衣(東金町小4年)
「アオスジアゲハの成長記録」
- 木村 葵(東金町小5年)
「水元公園 水質調査」

中学校

- ▶教育長賞
鳥居 幸永(桜道中2年)
「僕の昆虫記 2023年夏 そして池の1267日」
- ▶東京理科大学学長賞
千葉 美文(青戸中3年)
「ツミがいなくなったら自然環境はどう変わるのか」
- ▶入賞
森川 珠花(綾瀬中2年)
「夕焼けの赤をつくるには」
梅澤 貴之(高砂中1年)
「水に塩や砂糖を入れると、どのくらいの量(何%の濃度)で卵が浮くのか」
徳永 怜杏奈(高砂中1年)
「生ごみは肥料になり、植物の成長を助けるのか」
渡邊 莉子(東金町中2年)
「麺は30分でどれだけのびて、どれだけ重さが増えるのか」

第38回 葛飾区立中学校英語スピーチ&プレイコンテスト

令和5年10月14日に高砂地区センターで、第38回葛飾区立中学校英語スピーチ&プレイコンテストを実施しました。

全区立中学校から、代表生徒がスピーチやプレイ、RECITATION(英文の暗唱)に取り組みました。

スピーチの部では、24名の出場者が英語によるスピーチを発表しました。プレイの部では1校が英語劇を披露し、RECITATIONの部では2名が発表を行いました。

出場者は自分の考えや思いを堂々と述べ、発表内容や態度、発音・イントネーションなど、どれも見事な発表でした。

審査員や審査に加わったALT(外国語指導助手)からは、「一人一人素晴らしい発表だった」との講評があり、今年度も出場者の熱意と日頃の努力が伝わる充実した発表会となりました。

今後も葛飾区立中学校生徒の英語力の向上を目指す機会として、本大会を開催してまいります。

指導室 ☎03-5654-8471

スピーチの部結果				
第1位	水元中	2年	ジャッドジェシカ	What is a "half"?
第2位	桜道中	3年	赤司 馨	The Power of Language
第3位	本田中	3年	関 子琦	Why do we need to study?
奨励賞	葛美中	3年	住谷 優太	The Purpose of Learning Other Languages
奨励賞	四ツ木中	3年	石嶺 美桜	The Encounter with Brass Band
奨励賞	青戸中	3年	角田 結菜	Nourish Children's Dreams
奨励賞	高砂中	2年	沼澤 奈々華	The beautiful ocean we have
奨励賞	上平井中	3年	平井 煌桜	#2WF
奨励賞	常盤中	3年	石井 莓	My Dream
プレイの部結果				
奨励賞	奥戸中		英語活動部	Little Red Riding Hood
RECITATIONの部結果				
奨励賞	本田中	2年	有馬 悠人	Silent Night!
奨励賞	新小岩中	1年	高木 唯愛	A Mother's Lullaby

※敬称略。奨励賞はスピーチ順



▲奥戸中学校(英語活動部)



▲ジャッド ジェシカさん



「第10回 小学校連合陸上競技大会」を実施しました

令和5年9月21日・22日に奥戸総合スポーツセンター陸上競技場で実施し、区立小学校及び保田しおさい学校の6年生が参加しました。

今年度は、練習期間における熱中症対策のため男女1000mは実施せず、男女100m、男女50mハードル、男女走り幅跳び、男女4×100mリレーの8種目において、自己ベスト記録を目指して頑張りました。

陸上競技場のトラックにおいて、日頃の体育学習の成果を存分に発揮して走り、跳ぶ姿、そして、一生懸命仲間を応援する姿は素晴らしかったです。

今後も、陸上運動に興味や関心を持ち、技能や能力の伸長、体力の向上を図る取組として実施します。

指導室 ☎03-5654-8471



「第70回 中学校連合陸上競技大会」を実施しました

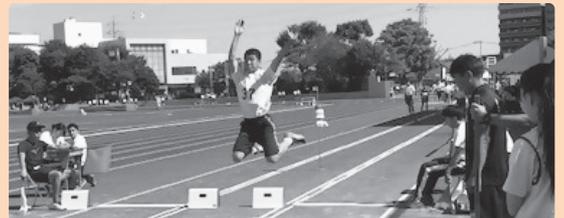
令和5年10月3日に奥戸総合スポーツセンター陸上競技場で実施し、区立中学生783名が参加しました。 指導室 ☎03-5654-8471

総合優勝…金町中学校

男子優勝…金町中学校 女子優勝…金町中学校

大会新記録(敬称略)

- 女子1・2年100mハードル 高砂中 内山 ソニア 14秒75
- 男子3年100m 小松中 松本 浩太 11秒24
- 男子2年1500m 新宿中 竹内 雅功 4分13秒03
- 男子2年1500m 堀切中 樋口 隼 4分13秒19
- 女子共通4×100m 金町中 50秒49



「第19回 葛飾区読書感想文コンクール」を実施しました

児童・生徒の読書活動を推進するために「葛飾区読書感想文コンクール」を実施しています。

今年度は、小学生14,351点、中学生3,687点の応募があり、小学生18名、中学生10名の作品が入賞しました。各部門の最優秀賞・優秀賞・佳作入賞者は次のとおりです(敬称略)。 指導室 ☎03-5654-8573

小学校低学年の部

- 最優秀賞 合沢 博人(中之台小2年)
- 優秀賞 飯塚 悠真(西亀有小2年)、渡邊 智匡(上小松小1年)
- 佳作 村越 優亜(青戸小2年)、関野 遥都(東柴又小1年)
濱 和奏那(東金町小1年)

小学校中学年の部

- 最優秀賞 高橋 暖(梅田小4年)
- 優秀賞 石井 綾音(小松南小4年)、狩谷 真咲(半田小3年)
- 佳作 村越 建太(鎌倉小3年)、山口 絢叶(北野小3年)
三盃 夢琉(東水元小4年)

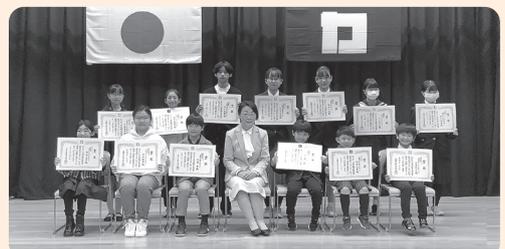
小学校高学年の部

- 最優秀賞 伊藤 柚葉(上小松小5年)
- 優秀賞 徳永 留嘉奈(葛飾小5年)、鈴木 琉偉(西亀有小6年)
- 佳作 塩崎 春香(鎌倉小6年)、鈴木 瑛士(半田小6年)
山本 翼(柴原小5年)

中学校の部

- 最優秀賞 久西 夏実(本田中3年)
- 優秀賞 橋本 心真(新宿中2年)、角田 桃花(亀有中2年)
井上 芹菜(常盤中1年)、橋本 遥香(新小岩中3年)
- 佳作 大久保 菜々子(桜道中3年)、徳原 アリス(小松中3年)
下田 真愛(亀有中1年)、橋本 明沙(一之台中3年)
東 紗菜(高砂中2年)

▶久西 夏実さんの作品は次のページに掲載しています。



理想を求め、風が吹く

本田中学校 三年 久西 夏実

書名「風に恋う」
著者「額賀 滯」

「僕は死ぬとき、今日のことを思い出したい。」

この言葉は、全日本大会での演奏後、茶園基がコーチの瑛太郎に向けて放った一言だ。この言葉を見たとき、なぜ基はそう言ったのか私には分からなかった。今日のことなんて、死ぬ時にはきっと忘れていくし、生きていけば今日よりも大切な日はたくさんあるはずだ。それでも今日のことを思い出したいと考えるのは、今まで必死に努力してきたからだろうか。それとも良い結果を得ることができたからだろうか。

私は今まで約三年間吹奏楽部に所属し、その内の一年間は部長として楽器に触れてきた。そんな私でも、この作品を読んだことで新しく学んだことが数え切れないほどたくさんあった。特に、部長というものに求められることや部活動の存在意義、部活動を通して学ぶ人生の歩み方については強く感銘を受け、なぜ今までこんな風にやってこなかったのかと疑問に思うほど心に刺さった。

私はこの作品を通して多くの疑問が浮かんだ。中でも深く考えた疑問が二つある。

「部長」とは何をするか。そう聞かれたら、私は「部活のリーダーとして部員をまとめ、周りよりも上手に演奏する」と答えるだろう。だが、部長に求められる真の目的は、まとめるだけか上手に演奏するだけか、そこではない。自分の理想を追いかけて一生懸命になれるかどうかなのだ。部長のように人から必要とされる人は、能力が高い人ではなく、理想のためにどこまでも自分と向き合い努力ができる人であると同時に、その様な人は自然と周りに必要とされるのだ。そのことに気付かされ、私もそんな部長にならなければならぬと強く決意することができた。

「部活動」はどうして行うのか。私が所属している吹奏楽部で考えてみるとしよう。一番身近で簡単な理由としては、コンクールで良い成績を取るためだろう。もちろんこれが間違っている訳ではないが、もっと大事なことがある。それは作中の次の言葉だ。

「ポイント稼ぎとか減点を避けるとかじゃなくて、審査員を含めた観客をどれだけ楽しませるかだ。」
審査員も人間だ。観客と同じように楽しませられて、心を揺らすことがで

ければ、それが本当の成功であり、部活をやっている良かったと思えるのだ。また、以前中学最後のコンクールで、外部指導の先生に「自分達の音楽をどうしたいか、どうすれば最後まで聴きたいと思ってもらえるかを考えて演奏しなさい。」と言われたのを思い出した。観客の心を揺らすということは、一番大切なことでありながら一番難しいことだと、今更ながらとても納得した。

結局、どうして部活動は行うのかという疑問の答えは、部活動の種類やその人の考えによって様々である。でも私は、その理由の一つに、部活動を通して人生の歩み方を学ぶことができるから、という考えがあると思う。作中に、コーチの瑛太郎が西関東大会の本番前に生徒に言った素晴らしい言葉がある。

「今日という時間がどれだけいいものだったかを決めるのは、明日以降の自分だ。だから、今日のためだけに生きるなよ。明日の自分のために生きろよ。」
こんな考え方は初めてだった。今までの私は、とにかく今日をどうやって過ごすか、今この瞬間をどうやって自分の力にするか、と考えていた。でも、この作品のお陰で、今日頑張ったことは明日以降の自分の糧になることや、今日の価値は明日以降の自分が決め、明日以降の価値は今日の自分次第で変わるということを学ぶことができた。

中学三年生の一年間は、どこを切り取っても貴重で大切なものだ。それはなぜか。中学生最後の年だからだろうか。いや、違う。高校受験という大きな壁の前に、自分の理想に手が届くよう追い続けることができるからだ。私はこの作品を通して、理想を追い求めて我武者羅になりながら走ることに美しさや、これ以上ないという程思いっきり悩んで一歩ずつ前に進んでいくことの輝きに強く心打たれた。これからは、私自身の理想を追いかけて一生懸命になることだ。このくらい覚悟ができないと、私は中学三年生失格になってしまうだろう。

「僕は死ぬとき、今日のことを思い出したい。」
なぜそう言ったのか、ではない。そう言えるようにこれから生きていかなければならないのだ。私の毎日の毎時間をそう言えるようにするため、理想という名の風が吹く瞬間をしっかりと愛していきたい。そんな日々が、私の理想だ。
(原文ママ)

なお、東京都小学校読書感想文コンクールにおいて、梅田小学校 高橋暖さんが特選を受賞し、東柴又小学校 関野遥都さんと鎌倉小学校 村越建太さんが入選しました。高橋暖さんは都代表として青少年読書感想文全国コンクールに選出されました。





「葛飾区少年の主張大会」が開催されました

令和5年11月18日、かつしかシンフォニーヒルズにて応募者数326人の中から選ばれた小学生19人、中学生8人、計27人がそれぞれの主張を発表しました。

結果は次のとおりです(敬称略・同一賞内の順番はプログラム番号順)。地域教育課 ☎03-5654-8482

小学生の部

最優秀賞

鞠子 紗陽 (道上小6年)
「だから世界は」
戸澤 あかり(渋江小6年)
「多様性と私」

優秀賞

齋藤 彩実 (葛飾小6年)
「小学校で学んだことから生まれた目標」
海老原 香琴 (細田小6年)
「私の夢」
佐藤 芽衣莉 (川端小6年)
「食品ロスについて」
小坂 友楓奈 (よつぎ小6年)
「意志表現するための四色ブロックの導入」
水上 佳萱 (上千葉小6年)
「変えられる自分」

入選

本多 真桜 (上平井小6年)
鈴木 里歩 (南奥戸小6年)
上田 莉久 (住吉小6年)
松本 凜空 (新宿小6年)
勢司 和樹 (金町小6年)
野村 里桜 (半田小6年)
増田 千遥 (原田小6年)
榎本 みずき (綾南小6年)
遠藤 結花 (西亀有小6年)
佐藤 心愛 (中青戸小6年)
中村 美咲 (飯塚小6年)
倉本 あおい (松上小6年)

優秀賞

蜂谷 凜紗 (奥戸中1年)
「SNSと学校と私達」
ジャッド ジェシカ (水元中2年)
「ハーフあるある2」

入選

藤井 杏奈 (新小岩中1年)
田口 由姫 (一之台中3年)
新保 杏奈 (青葉中1年)
楠見 すみれ (青戸中1年)
星川 美恵 (水元中3年)

中学生の部

最優秀賞

田村 優奏 (中川中3年)
「挫折からのスタート」

司会は昨年度
中学生の部
最優秀賞の
望月香愛さん
(水元中3年)



中学生の部・最優秀賞

挫折からのスタート

中川中学校 3年 田村 優奏

「自分の物語をつくり上げていくのは自分自身」

これは、私が学校に通えなかった時期に読んでいた本の一節です。この本の一節との出会いが、私に「今」を少しでも変えてみようという勇気をくれました。

私は、中学2年生の秋ごろから不登校になりました。1年生のときは私にも仲の良い友達がいまして、楽しく学校生活を送っていました。しかし、2年生になってクラスが変わってからは、自分の居場所が分からなくなり、毎日が苦しくなっていました。学校に行けなくなった最初の1週間は、規則正しく生活できていたのですが、段々と生活リズムが崩れていき、勉強にも手がつかなくなっていました。また、このまま学校に行けなくなり、今の生活が続いたら、自分は高校に入学できるのか、将来の夢も叶えることができないのではないか、という不安で頭がいっぱいになりました。何をしてもやる気が出ず、「人生終わったな」と思っていたとき、母から渡された安田祐輔さん作の本『未来が変わる勉強法』にこの「自分の物語をつくり上げていくのは自分自身」という言葉が載っていたのです。

当時、私は一度学校に行けなくなってしまったら、これからの人生に悪い影響が出てしまうのではないかと、これから先、何十年も続く人

生をひどく悲観していました。そんなある日、父が、父の今までの人生について話してくれました。高校受験に失敗し、一年浪人をして高校に入学した父は、同級生が高校に通っている間ずっと家で勉強をしていることが恥ずかしく、辛かったと言っていました。でも、私から見る限り、今、父は仕事も趣味も楽しそうに行っています。父は趣味で音楽を作っていて、海外の方から父の音楽の使用許可の申し出があったとも聞いています。そのくらい一生懸命に、でも楽しそうに「今」を生きています。父の過去と今を知り、誰も一度は経験するかもしれない挫折を、私は人より早い時期に迎えたのだと捉えるようにしてみました。そう思うことで、不登校で悩んでいることは必ずしも悪いということではないし、今、辛い思いをした分、これからの人生は絶対ハッピーになる!と前向きな気持ちを持つことができました。

私は今、学校に通うことができているのですが、どのような気持ちの変化があって行けるようになったのか、改めて考えてみました。そしてそれは、過去に辛かったことや苦しかったことを変えるのではなく、今、自分にできること、変えられることから変えていこうと思ったことにあるとわかりました。私の場合は、全く外に出ておらず、ポロポロだった生活リズムを整えるために、習い事に通うことや一週間に一度学校に行くことから始めました。次の言葉は、神学者ラインホルド・ニーバーの祈りの一節です。

「変えられるものは、それを変えるだけの勇気を、変えられないものは、それを受け入れる冷静さを、与えたまえ。」

自分がいくら頑張っても魔法使いではないので、他人の気持ちや過去の出来事は変えられません。それは、誰もが受け入れなければならない事実です。けれども、変えられない過去や事実がある中で、それでも変えられる未来のために、試行錯誤していくことはできます。

中学3年生になった今、優しい友達にも恵まれて楽しい学校生活を送ることができています。また、志望校も決まり、この先の未来に希望が見えてきました。私は、不登校になったことを通して、一人の人間として、とても大切なことを学ぶことができたと思います。そのことで、不登校という名の挫折を未来の自分が振り返って糧にできるよう、自分の人生の「物語」として受け入れられるようになりました。これから先、もっと辛いことや苦しいことがあるかもしれませんが、自分の物語をつくり上げていくのは自分自身なのだから、自分が信じて変えられる、出来ると思ったことを素直に選んで行動していける、そんな私でいたいと思います。



●子ども区議会が開催されました

令和5年12月25日、葛飾区議会の本会議場及び委員会室において、子ども区議会が開催されました。

子ども区議会は、次代を担う小・中学生が議会の仕組みを理解し、区政への関心を深めるとともに、小・中学生から区に対する要望や意見を聴取し、今後の区政運営の参考とすることを趣旨として、平成9年から実施しています。

今年度は、小学生24名、中学生20名が、子ども議員として参加し、夏休みの事前学習会から準備を重ねてきました。

議長に任命された、青戸中学校 遠藤 翼さんが開会宣言を行い、本会議の最後には、子ども区議会議員提出議案『一人一人の意見を尊重し、誰もが過ごしやすいまちかつしか』にするための決議が、原案のとおり全会一致で可決されました。

次年度も引き続き、子ども区議会を開催する予定です。ぜひ多くの子どもたちに、区政への関心を深めてほしいと考えています。



指導室 ☎03-5654-8471

テーマ	氏名	学校名	学年	質問
健康と福祉など	後藤 恭輔	上千葉小	5	実効性のある子どもの自殺防止の相談窓口について
	三幣 悠翔	東綾瀬小	5	たばこ対策について
	芝本 凜	小松南小	5	葛飾区の伝統工芸品を未来につなぐために
	大野 優悟	綾南小	6	銭湯の減少について
	加藤 優雅	堀切小	6	子どもが安心して相談できる児童相談所について
	坂崎 紅羽	新宿小	6	防災行政無線の音質の改善について
	西尾 美緑	亀青小	6	野球観戦等のできる複合スポーツ施設の整備による地域活性化について
	藤田 陽馬	二上小	6	少子化対策の推進について
	浅川 すみれ	青葉中	1	不審者対策の強化について
	神成 咲希	女子学院中	1	新たな「葛飾の魅力」の創出について
	後藤 優太	金町中	1	落書きやポイ捨てをなくし安心して暮らせる葛飾を目指して
	坂本 一華	品川女子学院中	1	高齢者のコミュニティ支援について
	能戸 莉咲	亀有中	1	弟の障害への理解と交流に向けて
	石川 和磨	中青戸小	5	ごみ拾いイベントやごみ箱を活用したポイ捨て対策について
街づくりと環境	伊藤 晴花	細田小	5	川のごみをなくし水が輝く葛飾を目指して
	神成 優希	青戸小	5	誰もがマナーを守り公共の道路や公園などを大切に使うために
	社 泳麒	西亀有小	5	騒音対策について
	中丸 咲季	上千葉小	5	ごみ集積場を荒らすカラス対策について
	森 晴希	木根川小	5	葛飾区のシンボルとなる新金線のLRT化を目指して
	佐野 日向子	青戸小	6	立石の下町らしさを残す再開発について
	ゲンヤットハミ	小松南小	6	区営駐車場の整備により路上駐車をなくし誰もが気軽に買い物を楽しむために
	内田 裕人	四ツ木中	1	立石の歴史と近代化が共存する再開発を目指して

テーマ	氏名	学校名	学年	質問
街づくりと環境	河本 真里	広尾学園中	1	カフェやショップ、人々の憩いの場としての空き家の活用について
	新保 杏奈	青葉中	1	緑化推進について
	嘉藤 璃々亜	中川中	2	不法投棄対策について
	坂口 一颯	中川中	2	空き家の活用について
	鈴木 聖矢	中川中	2	土手を活用したバスケットボールのできる公園整備について
	横地 浩聡	白鷗高校附属中	2	ホームレスや不法投棄対策、公園遊具の設置による河川開発について
	伊藤 共彦	上千葉小	5	授業にeスポーツやYouTube配信を取り入れ海外で活躍する人材を育成するために
	大城 ことは	綾南小	5	子どもたちが遊べる公共施設の整備について
	黒田 美織	柴原小	5	コンピュータ室の有効活用について
	成田 翠紗	柴原小	5	授業での屋内プールの利用促進について
教育と文化	濱田 紗綾	原田小	5	網戸の設置とトイレの改修による学校の虫対策について
	山ノ内 葵子	上千葉小	5	子ども向け広報かつしかのタブレット配信により葛飾区についての理解を深めるために
	道家 光虹	東綾瀬小	6	見守りアンケートにより子どもたちが楽しい学校生活を送るために
	細矢 一樹	宝木塚小	6	いじめ加害者に対するアプローチの検討について
	遠藤 翼	青戸中	1	区立図書館の老朽化について
	柴森 あかね	桜道中	1	スポーツの街葛飾を目指して
	須田 紗代子	高砂中	1	学校設備の整備や活用により学力向上や学校生活の充実を目指して
	濡髪 真衣	葛美中	1	制服のジェンダーレスについて
	箕野 由奈	奥戸中	1	図書館や図書室の設備の充実及び学習室としての利用について
	矢野 絆	葛美中	1	すべての子どもが尊重され自分らしく生きるために

※敬称略

教育環境の充実に向けて学校改築を進めています

子どもたちが安全・良好な教育環境で学習することができるよう、学校の改築(建替え)を進めています。

現在、高砂けやき学園高砂小学校・高砂中学校、水元小学校及び道上小学校で工事を行っており、二上小学校も令和6年2月から建設工事に着手します。宝木塚小学校、常盤中学校及びよつぎ小学校・四ツ木中学校につきましても、新校舎の設計業務を進めており、来年度以降、順次建設工事に着手していく予定です。

学校施設担当課 ☎03-5654-8453

次期改築校を選定しました

学校施設の改築を計画的に進めるため、令和5年12月に次期改築校を選定しました。

令和5年度選定校

- ① 本田小学校
- ② 小松南小学校
- ③ 東四つ木地域(木根川小学校、渋江小学校、中川中学校)
- ④ 柴又地域(東柴又小学校、桜道中学校)*

① 本田小学校・② 小松南小学校

市街地再開発事業等により児童・生徒の増加が見込まれ、改築以外の方法では受入れが困難であるため、今後、改築懇談会を設置して、学校や保護者、地域の方々との意見交換をしながら学校改築を進めます。

③ 東四つ木地域(木根川小学校、渋江小学校、中川中学校)

学校の適正規模を確保し、教育環境の充実を図るため、木根川小学校と渋江小学校の学校統合を行い、統合小学校と中川中学校の施設一体型校舎を整備します。今後、施設一体型校舎の整備に向けて基本構想・基本計画、設計に着手します。

④ 柴又地域(東柴又小学校、桜道中学校)

柴又小学校を改築校として選定し、改築の検討を進めてきました。検討を行う中で、改築期間中の教育環境の維持が難しくなることから、今後、柴又小学校と東柴又小学校を統合した新しい学校づくりと桜道中学校を含めた一連の改築について、改築懇談会の中で検討します。

※一連の改築の方針が決定した場合、東柴又小学校及び桜道中学校を次期改築校に追加します。

今後も、子どもたちが安全・良好な環境で過ごすことができるよう、学校改築を進めるとともに、改築に当たっては地域とともにある学校としてふさわしい機能を、地域の方々との協議しながら整備していきます。



▲ 令和5年9月に工事が完了した西小菅小学校



▲ 水元小学校新校舎イメージ図

年頭所感



教育長
小花 高子

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのことと存じます。

本年が園児、児童、生徒、保護者の皆様、区民の皆様にとりまして、良き1年になりますことを心から願っております。令和6年度は、新たに策定した「かつしか教育プラン」(2024~2028)のスタートの年となります。

このかつしか教育プランの策定に当たっては、社会の変化に鑑み、今日的な課題として新たに次の2つの考え方を取り入れています。

一つ目は持続可能な社会の創り手の育成、二つ目は日本社会に根差したウェルビーイングの向上です。

ウェルビーイングについて文部科学省の資料では、

● 身体的・精神的・社会的に良い状態にあることを言い、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念

● 多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じることも、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じる

じられる良い状態にあることも含む
包括的な概念
と説明されています。

新しい「かつしか教育プラン」に基づき
自分が幸せになるためだけでなく、より
包括的に全ての人の末永い幸せをどう
実現していくのかを考え、そのために学
び続け、成長し続けていく、そのような
子どもたちを育てていきたいと考えて
おります。

葛飾区の子どもの今後の活躍の
舞台は、間違いなく日本を超えて世界に
なっていくでしょう。

葛飾区で育った子どもたちが、持続可
能な社会の創り手となり、平和な社会
を実現していく原動力となってくれるこ
とを期待しています。

本年も、各学校と連携しながら、引き
続き子どもたちの学力体力の向上はも
とより、英語教育の充実、ICTの活用、
一人一人を大切にされた教育の推進など、
葛飾区の教育の更なる充実に取り組ん
でまいります。

また、生涯学習、生涯スポーツの各分
野においても、長く続いた新型コロナウイルス
ウィルス感染症流行のトンネルを抜け、
様々な事業に多くの区民の皆様に参加し
ていただけることを期待しております。

本年もよろしくお願い申し上げます。

教育総務課 ☎03(5654)8449



教育委員会の動き(令和5年10月~12月)

教育委員会の会議を7回開催しました。
提出議案 13件 (うち可決された議案 13件)
報告事項 23件

主な可決議案

- 審査請求に係る裁決について
- 葛飾区青少年問題協議会条例施行規則の一部を改正する規則
- 奥戸総合スポーツセンター少年野球場改修工事請負契約締結に関する意見聴取
- 幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例に関する意見聴取

主な報告事項

- 葛飾区教育振興基本計画(案)について
- 次期改築候補校の選定と今後の進め方について
- 葛飾区学校教育情報化推進計画(素案)について
- 令和6年度入学 指定校変更申立状況について

教育総務課 ☎03-5654-8449

詳しくは区HP

<https://www.city.katsushika.lg.jp/>
をご覧ください(会議録もご覧になれます)。



教育長と教育委員会委員をご紹介します



上段左から：壺内明 委員、井口信二 委員、青柳豊 委員
下段左から：谷部憲子 委員(教育長職務代理)、
小花高子 教育長、上原有美江 委員

日高芳一氏の任期満了に伴い、令和5年12月22日付
けで、井口信二氏が教育委員会委員に就任しました。
任期は令和9年12月21日までです。

教育総務課 ☎03-5654-8449

お詫びと訂正

かつしかのきょういく第152号(令和5年10月31日発行)8
ページ(裏表紙)の記事「全国学力・学習状況調査の結果から」
で、左下に掲載している「全国学力調査 平均正答率」の
表中、中学校の教科を「算数」と記載しましたが、「数学」の
誤りでした。お詫びして訂正いたします。

教育総務課 ☎03-5654-8449

「かつしかのきょういく」は年3回発行です。
皆様をご覧ください。

この広報誌は、印刷用の
紙にリサイクルできます。